

滋賀県立男女共同参画センター所長 佐保田 ます美 さん

特別寄稿

滋賀県労働雇用政策課、女性活躍推進課、モノづくり振興課、子ども・青少年局を経て、令和3年4月から現職。

6月には、「G-NETしが女性の起業応援センター」を開設。「女性のつながりサポート事業」では、生理用品の提供とともに、コロナ禍で孤独を感じ社会的に孤立し不安を抱えている女性などに対する相談支援や居場所の提供などに取り組んでいる。



センター所長に就任して早いものでもうすぐ一年になろうとしています。当センターでは、男女共同参画を推進する県の拠点施設として、研修講座を数多く開催したり、相談事業を行うほか、図書資料室の運営、女性の起業支援、貸館業務など様々な取組を進めています。就任当初、日々多くの方にご利用いただきながら様々な取組を進めるセンターは、まるでお客様に必要なサービスを心を込めて提供するホテルのようだと考えたものです。学んだり、交流したり、心や身体を休めていただいたりなど、センターをご利用いただく皆さんをはじめ、県民の皆さんに寄り添い、支援、応援する場だと今改めて感じています。

長引くコロナ下では、これまで抱えてきた男女共同参画の課題が浮き彫りになりました。ジェンダー平等に向けた取組をあの手この手と工夫してこれまで以上に加速しなくてはと思っています。取組を加速していくために、県内各地の様々な年代、属性で取り組まれる方や団体を増やしていきたい、活動を支援していきたいと考えています。まさに拠点としての取組に、より一層力を入れていきたいと考えているところです。

以前一緒に仕事をした伝統工芸品製造会社のトップが「伝統は革新の連続である」と仰っていましたが、まさにセンターも然りと思っています。歴史と伝統のあるセンターが県の取組を推進する拠点としての役割を果たしていくために、良いと思ったことに柔軟にチャレンジし続けたいと思っています。

中でも今後、防災への関わりを強化していきたいと考えています。「天災は忘れた頃にやってくる」と言われますが、近年では毎年のように自然災害が起り、避難が必要な場面も他人事ではなくなってきました。いつどこで起こるかわからない災害に備え、誰ひとり取り残さない防災を実現するには男女共同参画の視点の強化が不可欠です。センターとして関係部署はじめ地域としっかりと連携して取り組んでまいります。



いろいろと書いてまいりましたが、最後に目指すところはやはり当センターが掲げるスローガン「家庭で 地域で 職場で 自分らしく輝く生き方を!」のとおり、誰もが天から授かった大切な命を、自分らしく輝かせることができるように、そのためのきっかけを提供していきたいと思っています。

令和4年3月  
第18号  
発行者・NPO法人  
男女共同参画をすすめる会・IYOU 淡海

ジェンダー潮流

## 国際女性デーに向けて ジェンダー平等の今を考える

特定非営利活動法人男女共同参画をすすめる会・IYOU 淡海理事長 吉岡 康子

日本は、「ジェンダーギャップ（男女格差）指数2021」が156か国中120位と、国際社会のスピード感を持った推進状況に比べて非常に遅れています。その要因の一つに、根強い固定的な性別役割分担意識があり、根底にアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み・偏見）があります。これは、誰もが大人になる過程で知らず知らずのうちに、男性／女性だから「どのようにあるべきで、どう行動し、どのような外見をすべきか」という既成概念や固定観念がつくられ、判断や言動の規範となるものです。

内閣府の調査では、性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験は、「直接言われた経験」よりも「言動や態度から感じた経験（間接経験）」の方が多くなっています。例えば「理系は男子」「理系は女子に向かない」は、授業環境や教員・保護者からの声掛け、メディアなどに潜み、女子の理数離れを引き起こす要因となっています。無意識のうちに多様な選択肢の障壁となり、他人を評価するときだけでなく自分自身の可能性をも狭めているのです。これは男性の生きづらさにもつながるものです。

だれしもアンコンシャス・バイアスと無縁ではありませんが、自覚できないため取り除くのは容易ではありません。そこで、「自分の当たり前と、相手の当たり前は違う」を足掛かりに、自分のものの見方や、思考の癖などアンコンシャス・バイアスの傾向を「見える化」したり、あらゆる場で女性や若者をはじめ多様性の高い集団とすることが大切になります。

今、コロナ禍の中で、「生理の貧困」が浮き彫りになっています。滋賀県のLINEアンケートでも「生理用品の購入・入手に苦労している」が4人に1人。学びや仕事の場での深刻な影響など機会損失につながっている状況も見えてきました。「生理を快適に過ごす当たり前」が担保されていないことや、教育や情報へのアクセスが不十分であることを明らかにしています。これらは更年期ともつながるもので「性」や「生」の問題として包括的に捉えること、そして何より「恥ずかしい」「言えない」などタブー視する風潮をなくして、男性も女性自身も、社会全体で理解を深めることが大切です。

当団体では、包括的セクシュアリティ教育の考え方をベースに、セミナーやポスターセッション、親子で学べる絵本の紹介などに取り組んでいます。ちょっと恥ずかしいけれどココロと体を守る性や生について考え、話してみませんか。

### 包括的セクシュアリティ教育 キーコンセプト

- 1 人間関係
- 2 価値観、人権、文化、セクシュアリティ
- 3 ジェンダーの理解
- 4 暴力と安全確保
- 5 健康とウェルビーイング（幸福）のためのスキル
- 6 人間のからだと発達
- 7 セクシュアリティと性的行動
- 8 性と生殖に関する健康  
(国際セクシュアリティ教育ガイダンスから)

### Contents

- ジェンダー潮流 「国際女性デーに向けて ジェンダー平等の今を考える」  
クローズアップ 「行動する女性たち」/G-NET シネマ/託児室・保育士からのメッセージ  
特別寄稿 滋賀県立男女共同参画センター所長 佐保田ます美さん

特定非営利活動法人 男女共同参画をすすめる会・IYOU 淡海 理事長 吉岡康子

〒523-0891 滋賀県近江八幡市鷹飼町 105-2

TEL 0748(43)1620/FAX 0748(43)1621/E-mail npo\_iyou\_oumi\_2008\_4@lily.ocn.ne.jp



本から見る

## 行動する女性たち



3月8日の「国際女性デー」は、国際婦人年にあたる1975年に国連が制定しました。毎年、国連はじめ世界各国で、ジェンダー平等がどこまでその可能性を広げてきたかを確認し合い、今後のさらなる前進に向けての議論が行われています。2022年のテーマは「持続可能な明日に向けて、ジェンダー平等をいま」です。「国際女性デー」が、女性への差別撤廃と地位向上に向けて世界の女性たちが連帯する日であることにちなみ「行動する女性たち」の本をご紹介します。

150年前、女性と男性はまったく別の人生を送っていました。例えば、女性は教育を受けられない、結婚するまでは父親に、結婚してからは夫に従わなければならない、選挙権がない…。そんな中で、女性たちは、世界のあちこちで声を上げ、立ち上がり、連帯して様々な権利を勝ち取ってきました。

『ウーマン・イン・バトル』は、そんな女たちのドラマティックな闘いと連帯をマンガで熱く描いています。

『ウーマン・イン・バトル』  
マルタ・ブレン：文  
イェニー・ヨルダル：絵  
合同出版



『女性の世界地図』は、世界の女性の状況を、統計データをもとに地図やグラフィックで可視化しています。前文に「女性の世界では、『先進』国はほとんど存在しない」「国家の権力体制によって後戻りすることもある」とあり、出産にまつわる権利、

『女性の世界地図』  
ジョニー・シーガー：著  
明石書店

収入格差、貧困、DVなどさまざまな観点から、地域間の差異や類似性など世界のジェンダー格差を一目瞭然としています。

「G-NETシネマ」では、自分らしく輝く生き方のヒントになる映画を隔月で上映しています。その中から一作品をご紹介します。

## G-NET シネマ

『マダム・イン・ニューヨーク』（字幕作品）2012年/インド/134分/  
監督：ガウリ・シンデー/出演：シュリデヴィ、アディル・フセイン、メーディ・ネブー他  
インドでごく普通の主婦として暮らす主人公が、姪の結婚式の手伝いで一人ニューヨークに旅立ち、英語を学ぶことをきっかけにして自信と新たな人生観をつかむストーリーです。未知の領域に自ら踏み込んで自尊感情を育む女性のエンパワーメントを軸にして、多様性を受け入れる社会の在り方をも描き出しています。女性監督による本作は、個々の尊厳の尊重と人生賛歌をインド映画らしく謳いあげた珠玉作として、女性主人公の清々しい魅力が普遍的な共感を呼び、国を越えて観るものに爽やかな幸福感を与えています。

(2021年6月26日上映)

\*G-NETシネマでは、多彩なテーマや価値観を扱った作品を邦画・洋画を交えて上映しています。ささやかな発見や驚きをもたらす映画でのひとときをぜひご堪能下さい。  
(G-NETシネマ担当・窓口 田中)

今回は4月16日(土)  
アイ・ラヴ・フレンズ  
お楽しみに!

2022年 G-NETシネマ  
4月上映ご案内  
アイ・ラヴ・フレンズ  
4月16日(土)  
上映：午後1時30分～(上映30分前より受付開始)  
場所：G-NETしが 定員80名

参加費無料  
事前予約不要  
無料託児(事前予約要)

## クローズアップ



女の子にとって世界は、希望と可能性に満ちた場所であると同時に障壁と危険に満ちた場所でもあります。『わたしは女の子だから』は厳しい現実生きる女の子たちの現状と、少しでも改善しようと活動する人たち、そして支援を受けた女の子たち自身が世界を変えようとしている姿を描いています。

『わたしは女の子だから』  
ローズマリー・マカーニー、ジェン・オールバー、  
国際NGO プラン・インターナショナル：文  
西村書店

韓国では、2015年ごろから若い世代を中心にフェミニズムに関心が高まっています。小説やエッセイ集が多く出版されたり、これまで自分たちの身に起こった不当なこと、不愉快なことが差別であったと気づき行動する女性が増えています。『韓国フェミニズムと私たち』は、そんな女性たちの言葉を集め、韓国でのフェミニズムムーブメントを紹介しています。

『韓国フェミニズムと私たち』  
タバックス：編  
タバックス



日本でも、性暴力事件の無罪判決が相次いで出された2019年3月から始まった「フラワーデモ」が広がりをみせました。

『フラワーデモを記録する』はその活動の記録であり、その場に集まった女性たちの声や想いが込められています。

『フラワーデモを記録する』  
フラワーデモ：編  
エトセトラブックス

(図書司書担当・七里)

## 託児室・保育士からのメッセージ

子育て中のママさん、パパさん、保護者の皆さん、毎日お疲れ様です。  
特に今、コロナ禍の中で、不安な思いや悩み、心配なことはありませんか？

「家族以外の人と関わる機会が減ってしまい、子どもの成長に影響するのでは？」と心配される声を聞くことがあります。特に未就園の子どもさんは家庭内での関わりだけになりがち。心配になってしまいうね。「毎日同じ繰り返しだと飽きてしまうのではないか」「新しい遊びを与えないといけない」など思い込んでしまったりするかもしれません。でも、心配ご無用です。0～2歳児の子どもたちは、まだまだ「ひとり遊び」が基本です。子どもの視線を大切に、笑ったり、触れ合ったりすることで十分です。特別なことを話さなくても、「やったー！」「すごいね」でオッケーです。子どもは遊びの天才です！いつものお散歩コースでも、風の匂い、鳥の鳴き声、揺れる葉っぱ、ちっちゃな石ころ、何でも新鮮に感じて受け止めます。子どもさんが感じていることを、そのまま言葉にしてあげれば、言葉の成長にもつながります。もちろん同年代の子どもさんと関わることは良い刺激になりますが、いずれは集団生活を体験するようになりますので今は焦らないで、子どもさんと一緒に楽しんでくださいね。

\*マザーズジョブステーション等の託児のほか、イベント(託児ルーム企画、ニコニコ託児室・G-NETカフェなど)を随時お知らせしています。お気軽にご参加ください。(託児担当・保育士 藤井)